

第 10 回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成 29 年 2 月 9 日(木) 13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：奈良春日野国際フォーラム 会議室 5

出席者：委 員 長 吉田 博宣

副 委 員 長 山倉 拓夫

委 員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 春日大社、春日山原始林を未来へつなぐ会

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《 奈 良 県 》 景 観 ・ 自 然 環 境 課、 森 林 整 備 課、

森林技術センター、奈良公園事務所

《 関 係 機 関 》 林 野 庁 奈 良 森 林 管 理 事 務 所、 奈 良 市 景 観 課、

奈良市文化財課

議題 (1) 春日山原始林におけるナラ枯れ対策について

(2) 春日山原始林における後継樹育成について

報告

議事要旨

(1) 春日山原始林におけるナラ枯れ対策について

- ・ ナラ枯れ対策の方向性として、今後はビニール被覆は行わないこととする。
- ・ 今後の対策については、効果的な手法について、ワーキンググループをつくって、ナラ枯れ対策の専門家のアドバイスを受けることとする。
- ・ ナラ枯れ対策の手法としては、高濃度濃縮タイプの薬剤の樹幹注入を行うこととする。
- ・ 更新が可能と考えられる箇所については、植生保護柵の設置を検討する。

(2) 春日山原始林における後継樹育成について

- ・ 36 箇所の植生保護柵のうち、ギャップがある箇所において、補植を実施し、モニタリングを行って効果検証を行うこととする。
- ・ 後継樹の育成についても、ワーキンググループを設置して、具体的な手法について検討を行う。